

先生方のための徹底入試対策講座

第85回 出題されない分野は勉強しない？

そろそろ、受験生は志望校に向けて、対策を考えている時期ですね。

.....

「先生、＜いろいろな曲線＞はパスしていいですか？」

「なっ、なんと！」

「入試対策としては、整数、微積、空間図形、確率に絞ろうと思っているのですが...第一志望のN大学について、ここ数年の過去問を調べたところ、＜いろいろな曲線＞は出されていないので...」

「.....」

.....

「先生、＜空間図形＞が苦手なんです。」

「確かに、空間図形は苦手だという受験生は少なくないね。で、きみはその対策の相談かな？」

「先生、それはいいのです。」

「えっ...?...?」

「出題傾向から、空間図形が出題されない大学を教えてほしいと思って、相談に来ました。」

「.....」

.....

出題されていない分野は勉強しない、苦手な分野は出題されない大学を受験する、確かにいずれも、受験勉強の効率を目指す、という観点からは、それがいいとか悪いとか言うことではなく、ひとつの考え方ですね。

少し悲しい気もしますが、受験生はそれほど大変な状況におかれているのです。（勉強が大変とは言っていません。状況が大変なのです。）

.....

そこで少し、良し悪しはあまり気にせず、受験指導に関して、このあたりを大胆に考えてみます。もちろん、異論があることは承知の上です。

1 出題されていない分野は勉強しない？

それぞれの大学は、それぞれの学風をもち、意識するかしないかに関わらず、入学試験にその傾向（のようなもの）があるように思います。

①このようなことを相談に来る生徒は、学力に十分な余裕がないことが多いのは当然と言えますが、それなら、勉強する分野にメリハリをつけるのも悪くはないと思います。出る可能性の大きい分野をまず確実にするということです。

② 出る可能性が少ない分野については、時間に余裕がある生徒はもちろんやるに越したことはありませんが、そうでない生徒は後回し、時間との兼ね合いです。

万が一、出題されても、その大学の傾向に沿わないわけですから、ほかの受験生もあまりやっています。差がつかない！と思います。しかし、基本的なものが出されて、それができないようなら、極めて不利ですから、基本問題はできるようにしておく必要があります。対策は、あるレベルまで、というのが、有利ではないかと思います。

2 受験指導は、限られた時間の中での、得点の最大値問題！

受験指導は、限られた時間の中での、得点の最大値問題だと思っています。完全に確実な受験勉強は存在しないので、極力、生徒の可能性を高めるための方策という観点で、分野についても、難易度についても、メリハリをつけて...と思います。

学校法人河合塾 数学科講師 大竹真一